

令和元年10月9日

名古屋市長

河村 たかし 様

名古屋民主市会議員団

団 長 加 藤 一 登

名古屋城天守閣木造復元事業に係る要望書

名古屋城天守閣木造復元事業については、いまだ文化庁の現状変更許可が得られておらず、当初目標としていた2022年の竣工期限を断念する旨を市長みずからが記者会見において発表されたところである。

現時点では、重要文化財である石垣の調査も進んでおらず、有識者である石垣部会との協議・調整も難航している状況にあり、技術提案交渉方式に係る基本協定の有効性を保持できる期間は5年以内が目安であるとの見解が示された一方で、木造天守閣の竣工時期については明示されておらず、新たな竣工期限は全く見通せない事態に陥っている。

これまでの説明とは全く異なる状況下において、従前と同様に名古屋城天守閣木造復元事業を推進することは、市民に不安を与えるものであると言わざるを得ない。

よって、名古屋民主市会議員団は、今般の名古屋城天守閣木造復元事業に関する諸情勢の変化を踏まえ、市長に対し下記の事項を要望する。

記

- 1 名古屋城天守閣木造復元事業については、特別史跡の構成要件である石垣の保全に万全を期すべく石垣部会との協議・調整を綿密に行ったうえで、文化庁と協議し、現天守閣解体に関して拙速な結論を求めることなく、適切な工期・工程を踏まえ、無駄な公金を支出することのないよう努めること。
- 2 これまでの経済水道委員会での審議を踏まえ、市民に対して、現天守閣の意義を広く周知するとともに、名古屋城天守閣木造復元事業に係るこれまでの経過と今後の進め方について説明を行う場を設けること。